

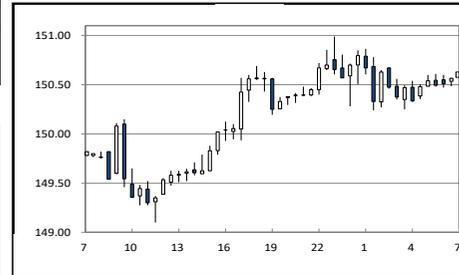
みずほCustomer Desk Report 2025/03/03号(As of 2025/02/28)

【昨日の市況概要】				公示仲値	
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	150.10	1.0395	155.97	1.2599	0.6232
SYD-NY High	150.99	1.0420	157.15	1.2621	0.6238
SYD-NY Low	149.10	1.0360	154.80	1.2560	0.6192
NY 5:00 PM	150.63	1.0375	156.28	1.2579	0.6209
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	43,840.91	601.41	日本2年債	0.8100%	0.0000%
NASDAQ	18,847.28	302.86	日本10年債	1.3700%	▲0.0200%
S&P	5,954.50	92.93	米国2年債	3.9848%	▲0.0663%
日経平均	37,155.50	▲1,100.67	米国5年債	4.0104%	▲0.0672%
TOPIX	2,682.09	▲54.16	米国10年債	4.2016%	▲0.0632%
ソコ日経先物	37,605.00	5.00	独10年債	2.3865%	▲0.0270%
ロンドンFT	8,809.74	53.53	英10年債	4.4835%	▲0.0275%
DAX	22,551.43	0.54	豪10年債	4.3080%	▲0.0400%
ハンセン指数	22,941.32	▲776.97	USDJPY 1M Vol	10.75%	0.25%
上海総合	3,320.90	▲67.16	USDJPY 3M Vol	10.34%	▲0.01%
NY金	2,848.50	▲47.40	USDJPY 6M Vol	10.25%	0.15%
WTI	69.76	▲0.59	USDJPY 1M 25RR	▲1.56%	Yen Call Over
CRB指数	301.83	▲4.21	EURJPY 3M Vol	10.72%	▲0.04%
ドルインデックス	107.61	0.37	EURJPY 6M Vol	10.62%	0.08%

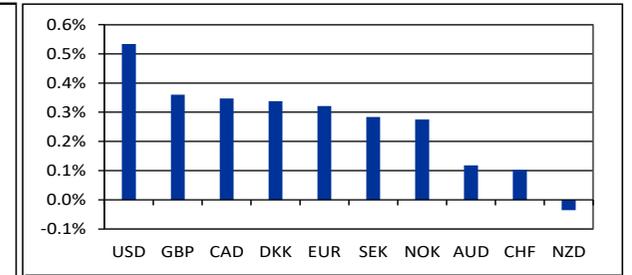
【昨日の指標等】					
Date	Time	Event	結果	予想	
2月28日	08:30	日 東京CPI / コア	2月	2.9%/2.2%	3.2%/2.3%
	08:50	日 鉱工業生産(前年比)・速報	1月	2.6%	2.8%
	16:00	独 小売売上高(前月比)	1月	0.2%	0.5%
	16:45	仏 CPI(前年比)・速報	2月	0.8%	1.0%
	22:00	独 CPI(前年比)・速報	2月	2.3%	2.3%
	22:30	米 卸売在庫(前月比)・速報	1月	0.7%	0.1%
3月1日	10:30	中 製造業PMI	2月	50.2	49.9
	10:30	中 非製造業PMI	2月	50.4	50.4

【本日の予定】					
Date	Time	Event	予想	前回	
3月3日	10:45	中 Caixin中国製造業PMI	2月	50.4	50.1
	17:55	独 製造業PMI・確報	2月	46.1	46.1
	18:00	欧 製造業PMI・確報	2月	47.3	47.3
	19:00	欧 CPI速報値(前年比)・速報	2月	2.3%	—
	23:45	米 製造業PMI・確報	2月	51.6	51.6
3月4日	00:00	米 建設支出(前月比)	1月	-0.1%	0.5%
	00:00	米 ISM製造業景況指数	2月	50.8	50.9

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	149.80-151.80	1.0350-1.0500	155.50-158.00

【マーケット・インプレッション】

先週末のドル円は堅調な推移。東京時間朝に発表された2月東京CPIが予想を下回ると、早期利上げ期待の後退から、150円台を回復。日経平均の大幅下落につられ、149円台前半まで値を下げるも、その後はじりじりと上昇。米1月PCEデフレーターを受けた米金利の低下に一時下落も、150.63まで戻してクローズ。
先週末の米1月PCEデフレーターを受け、市場では6月会合での利下げを織り込み、米経済の軟着陸へ不安が高まっている。そんな中、本日は米2月製造業ISMを控え、予想を下回ると米経済の先行きへの不安が更に高まるだろう。ただし、明日4日にトランプ米大統領によるカナダ、メキシコへの関税発動が控えること。米国とウクライナ的首脳会談が決裂しリスク回避のドル買いが優勢となり、1.0360まで下落。その後は小幅戻し、1.0375レベルでクローズ。

東京	朝方に公表された2月東京CPIが市場予想を下回ったことで日銀による早期利上げ期待が後退するとドル円相場は150円台を回復し、150.10レベルで東京時間オープン。その後、内田日銀副総裁の効派寄りの発言や日経平均株価の大幅下落を横目に149.10まで下げ幅を拡大。一巡後はじりじりと値を戻し、結局150.02レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	1月の米PCE統計の発表を控える中、USDJPYは150.02レベルに始まり、欧州株が比較的堅調だったこともあり、やや円安推移に、150.67レベルでニューヨークに渡った。2月のフランスCPIは前月比0% (予想0.2%)、前年同月比0.8% (予想1%)と予想を下回った。イタリ2月CPIは前月比0.1%とほぼ同水準、前年同月比は1.7% (予想1.8%)と予想を下回った。市場はこの指標に反応しなかった。EURUSDは1.0384レベルで始まり、1.0384と1.0408の間で取引され、1.0408レベルでニューヨークに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は149円台後半でスタート。本邦2月コア東京CPIが予想を下回り、その後は円売りが優勢となり、150.67レベルでNYオープン。朝方に発表された米1月コアPCE価格指数(前月比)が予想と概ね一致した事を受け、米早期利下げ期待がやや強まり、発表後は米金利の低下に追随し、150.30付近まで下落。続いて発表された米2月MNIソコPMIが予想を上回ると、150.90付近まで戻す。午後は米国とウクライナ的首脳会談が決裂した事を受け、リスクオフムードが一段と高まり、150.24まで円買いが進む。その後下げ渡り、150.63レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.03台後半でスタート。独2月失業率が予想程悪化しなかった事が好感され、じり高で推移し、1.0408レベルでNYオープン。午前中は先述の米1月コアPCE価格指数の結果を受け、1.0420まで上昇する場面もあったが、その後は伸び悩み、1.04台ちょうど付近まで反落。午後は米国とウクライナ的首脳会談が決裂した事を受け、リスク回避のドル買いが優勢となり、1.0360まで下落。その後は小幅戻し、1.0375レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。